



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年1月29日

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3635 URL <http://www.koeitecmo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 襟川 陽一  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 TEL 045-562-8111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	22,542	△6.4	3,937	△19.0	9,517	3.9	6,830	4.6
27年3月期第3四半期	24,075	△5.9	4,858	35.7	9,157	22.4	6,532	31.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,847百万円(△83.6%) 27年3月期第3四半期 11,292百万円(40.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	64.99	64.76
27年3月期第3四半期	62.58	62.22

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	104,543	97,839	93.4	928.91
27年3月期	115,216	100,672	87.3	957.59

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 97,681百万円 27年3月期 100,591百万円

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っており、1株当たり純資産は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	55.00	55.00
28年3月期	-	0.00	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	46.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、平成28年3月期(予想)の期末配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成28年3月期(予想)の期末配当金は55円20銭となります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	5.8	10,000	3.6	14,000	3.2	9,500	0.7	90.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、平成28年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－ 除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	107,723,374株	27年3月期	107,723,374株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,566,692株	27年3月期	2,676,594株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	105,102,594株	27年3月期3Q	104,395,484株

※平成27年10月1日付で、1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が弱含みながらも、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。

ゲーム業界におきましては、2015年の国内家庭用ゲーム市場は前年を下回ったものの、下期には据置機市場が拡大するなど2016年に向けて明るい兆しが見られました。海外では、欧米は家庭用ゲーム機向け、アジアはスマートフォン向けを中心にマーケットが拡大しております。今後もデバイスの普及やVR技術の登場などにより、ゲーム業界はワールドワイドでの成長の持続が期待されます。

このような経営環境下において、当社では経営方針「IPの創造と展開」のもと、様々な施策に取り組んでおります。ネオロマンス20周年を記念して新作タイトルを発売し、各種イベントを実施しました。12月10日の「三国志の日」には、お客様がオリジナル歴史シミュレーションゲームを作成できる「三国志ツクール」(Win用)をリリースし、個性あふれるさまざまな動画のコンテストも開催されています。損益面では、売上高と営業利益については、品質向上のため一部タイトルの発売時期を延期したこと等により前年同期を下回りましたが、株式相場が堅調に推移したことに加え、受取配当金が一時的に増加したことと有価証券関連損益が伸長しました。これらにより、当社グループの当第3四半期業績は、売上高225億42百万円(前年同四半期比6.4%減)、営業利益39億37百万円(同19.0%減)、経常利益95億17百万円(同3.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益68億30百万円(同4.6%増)となり、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては第3四半期累計期間としては6期連続の増益を達成し、経営統合以来最高の業績となりました。

事業の種類別セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

**ゲームソフト事業 売上高 131億77百万円 セグメント利益 26億18百万円**

国内では、「ソフィーのアトリエ ～不思議な本の錬金術士～」(PS4、PS3、PSVita用)が好調な販売となりました。また、「信長の野望・天翔記 with パワーアップキット HD Version」(PSVita、Win用)と共に、アジア向け「討鬼伝 極」(Win用)を発売しました。当社グループが開発を担当した株式会社スクウェア・エニックスの「DISSIDIA FINAL FANTASY」(アーケード用)が全国のゲームセンターで稼働を開始したほか、欧米において「ドラゴンクエストヒーローズ 闇竜と世界樹の城」(PS4、Win用)がリリースされました。さらに、国内で先行して発売された任天堂株式会社との共同開発タイトル「零 ～濡鴉ノ巫女～」(Wii U用)も欧米にて発売となりました。

ダウンロード販売においては、欧米でのホリデーシーズン向けの施策が奏功し、Steamを通じた売上が伸長しました。「DEAD OR ALIVE 5 Last Round」(PS4、PS3、Xbox One用)の基本無料版の累計ダウンロード数が全世界で500万を突破し、コンテンツ販売も堅調に推移しております。

また、シブサワ・コウ監修のもと、大河ドラマ「真田丸」へ「信長の野望・創造」のCG技術を提供し、戦況説明の映像表現としてご活用いただいております。

**オンライン・モバイル事業 売上高 53億4百万円 セグメント利益 9億74百万円**

ソーシャルゲーム事業は、国内では「AKB48の野望」をMobageへ、「のぶニャがの野望」をコロプラへ新たに提供するなど、マルチプラットフォーム展開を推し進めました。また、有力IPとのコラボ展開やラジオ番組と連携したキャンペーンが好評となり、主力の「100万人」シリーズや「AKB48の野望」が伸長いたしました。海外では、「ぐるぐるダンジョン のぶニャが」の台湾におけるサービス展開を決定したほか、「大航海時代V」が引き続き好調を維持しております。

当社が開発・運営するコミュニティサイト「my GAMECITY」では、サードパーティーのゲームラインナップを拡充しました。

オンラインゲーム事業は、「真・三國無双 Online Z」(PSVita用)をサービス開始するなどの施策を行い、各タイトルとも底堅く推移しております。

以上の結果、増収増益を達成し、第3四半期連結累計期間としては経営統合以来最高の売上・利益を達成しました。

**メディア・ライツ事業 売上高 17億80百万円 セグメント損失 48百万円**

ネオロマンス20周年記念作品「アンジェリーク ルトゥール」(PSVita、PSP用)を発売したほか、「ネオロマンス・ハロウィンパーティー 2015」、「ネオロマンス 20th アニバーサリー・フィナーレ」など各種イベントを開催しました。

なお、第4四半期以降に発売を予定しているタイトルの開発費が先行して発生したことからセグメント損失が生じました。

**SP事業 売上高 12億14百万円 セグメント利益 4億68百万円**

パチスロ機「スーパーブラックジャック2」がリリースされました。パチンコ・パチスロ機への液晶ソフト受託開発が順調に進捗し、収益へ貢献しました。

**アミューズメント施設運営事業 売上高 9億58百万円 セグメント利益 56百万円**

不採算店舗の整理を進めて減収となりましたが、体験型キッズ施設へのリニューアルや新たな集客施策が年末にかけて奏功したほか、運営コストの見直しも寄与し、増益となりました。

**不動産事業 売上高 6億28百万円 セグメント利益 2億45百万円**

当社グループが保有する賃貸用不動産が堅調に稼働した結果、増収増益となりました。

**その他事業 売上高 95百万円 セグメント利益 24百万円**

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して106億72百万円減少し、1,045億43百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が54億22百万円、投資有価証券が33億57百万円、現金及び預金が15億63百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して78億39百万円減少し67億4百万円となりました。これは主に、固定負債の繰延税金負債が22億76百万円、未払法人税等が21億60百万円、買掛金が17億64百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して28億32百万円減少し978億39百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が47億58百万円減少した一方で、利益剰余金が20億24百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月30日に公表した通期の連結業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,958	10,394
受取手形及び売掛金	9,734	4,312
有価証券	1,924	3,470
商品及び製品	180	94
仕掛品	14	367
原材料及び貯蔵品	84	57
繰延税金資産	839	259
その他	2,283	1,499
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	27,007	20,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,081	12,605
その他(純額)	6,999	6,959
有形固定資産合計	20,080	19,565
無形固定資産		
のれん	677	387
その他	136	147
無形固定資産合計	813	535
投資その他の資産		
投資有価証券	65,893	62,535
退職給付に係る資産	271	358
繰延税金資産	268	295
その他	880	807
投資その他の資産合計	67,313	63,996
固定資産合計	88,208	84,096
資産合計	115,216	104,543

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,338	574
未払金	1,014	1,092
未払法人税等	2,849	689
賞与引当金	1,022	537
役員賞与引当金	258	161
返品調整引当金	18	3
売上値引引当金	527	373
ポイント引当金	15	16
繰延税金負債	0	0
その他	2,902	1,931
流動負債合計	10,949	5,379
固定負債		
繰延税金負債	2,873	597
その他	720	727
固定負債合計	3,594	1,324
負債合計	14,543	6,704
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	25,699	25,699
利益剰余金	53,955	55,979
自己株式	△1,735	△1,671
株主資本合計	92,919	95,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,598	2,840
土地再評価差額金	△3,099	△3,115
為替換算調整勘定	2,642	2,445
退職給付に係る調整累計額	531	503
その他の包括利益累計額合計	7,672	2,674
新株予約権	80	157
純資産合計	100,672	97,839
負債純資産合計	115,216	104,543



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	24,075	22,542
売上原価	13,924	13,158
売上総利益	10,151	9,384
販売費及び一般管理費	5,292	5,447
営業利益	4,858	3,937
営業外収益		
受取利息	1,409	1,177
受取配当金	1,004	3,137
投資有価証券売却益	2,545	1,388
その他	491	760
営業外収益合計	5,450	6,463
営業外費用		
投資有価証券評価損	922	607
有価証券償還損	184	—
その他	44	275
営業外費用合計	1,151	883
経常利益	9,157	9,517
特別利益		
固定資産売却益	147	—
特別利益合計	147	—
税金等調整前四半期純利益	9,305	9,517
法人税、住民税及び事業税	2,552	2,148
法人税等調整額	220	538
法人税等合計	2,773	2,687
四半期純利益	6,532	6,830
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,532	6,830

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	6,532	6,830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,867	△4,758
為替換算調整勘定	900	△196
退職給付に係る調整額	△7	△27
その他の包括利益合計	4,760	△4,982
四半期包括利益	11,292	1,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,292	1,847

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他	合計
	ゲームソフト	オンライン・モバイル	メディア・ライセンス	SP	アミューズメント施設運営	不動産	計		
売上高									
外部顧客への売上高	14,506	4,632	1,825	1,456	1,205	444	24,069	6	24,075
セグメント間の内部売上高又は振替高	265	271	5	11	0	—	554	79	634
計	14,772	4,903	1,831	1,468	1,205	444	24,624	85	24,710
セグメント利益又は損失(△)	3,567	892	163	484	8	88	5,205	△30	5,175

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,205
「その他」の区分の損失	△30
のれんの償却額	△316
四半期連結損益計算書の営業利益	4,858

(注) のれん及び資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他	合計
	ゲームソフト	オンライン・モバイル	メディア・ライセンス	SP	アミューズメント施設運営	不動産	計		
売上高									
外部顧客への売上高	13,054	4,891	1,779	1,213	958	628	22,526	16	22,542
セグメント間の内部売上高又は振替高	123	413	0	1	—	—	538	78	617
計	13,177	5,304	1,780	1,214	958	628	23,064	95	23,159
セグメント利益又は損失(△)	2,618	974	△48	468	56	245	4,314	24	4,338

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	4,314
「その他」の区分の利益	24
のれんの償却額	△290
営業外損益への振替高	△110
四半期連結損益計算書の営業利益	3,937

(注) のれん及び資産については、セグメントごとの配分は行っていません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他事業」に含まれていた「不動産事業」について重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。